

音楽療法レクリエーションについて

平成2 年 月 日 ()

担当： _____

日時 _____ 月 _____ 日 (_____ 曜日) _____ : _____ から _____ : _____ まで

場所 _____

内容 童謡や唱歌、歌謡曲を中心にさまざまな楽器を用いて伴奏する。
セラピスト主導にて奏者の伴奏に合わせて歌いながら、参加者さまも一緒に歌っていただけるよう、目線合わせ、手拍子をするなどして運動や発声を促す。
音楽療法の手法を取り入れ、参加者の表情や声、場の雰囲気により、手法を変える。

目的 音楽を聴くことによるリラクゼーション効果や歌う事による脳の活性化。また鈴やマラカスを鳴らす、歌に合わせた体操をするといった心身機能へのアプローチを目標に、全体を通して音楽を楽しんでいただき、笑顔になれることを目的とする。

手順 1. 伴奏ステージ、参加者の席などの会場セッティング。
2. 機材セッティング、参加者誘導。
3. セラピスト主導にて司会進行、伴奏開始。
4. 終了後、会場等の現状復帰。

注意事項 怪我や事故のないように実施する。

留意事項 聴覚障害や構音障害等の障害を持つ方、音楽が大好きで前列で参加したい方など配置配慮をする。

必要物品 名古屋音楽療法工房で準備

施設使用物品 ホワイトボード、椅子、テーブル、電源